

日本泳法の伝播に関する研究

——観海流の伝播に関する基礎的調査研究——

中 森 一 郎

はじめに

我が国における伝統文化、殊に家元及び家元制度を持つ領域の研究は、嘗て或る種の困難性があったようである。

このことについて、家元に関する研究で著名な西山松之助は「家元の実態を分析解剖したり、歴史的に究明したりすることができるようになったのは戦後のことである。」¹と述べている。

日本泳法の世界においても同様の傾向があったようで、我が国水泳史研究の大家石川芳雄は、著書『日本水泳史』の「二 水泳史研究の困難性²」の中で、古来の伝統を守り続けている流派の家元の許

において戦後はかなりその奥儀秘伝が公開されるようになったが未だ公開されないものがあり水泳史研究家にとっては研究上の困難があった、と言うようなことを述べている。

現在では、家元や指導者（師範等）及び文献資料所蔵者の理解・協力もあって、流儀や伝書にかかわる研究がかなり進められてきている。

しかし、この日本泳法の伝承過程における伝播の具体的な実態は、未だ十分に研究が行われていない。

伝統文化について研究を進める上で、伝承されてきた事柄（流儀・伝書・口伝・技術等）を明らかにすることも重要であるが、同時に、伝承過程においてどのように伝播がなされてきたかという伝へ

方や伝わり方を明らかにしていくことも重要なことである。

観海流においても伝書等の公表は既に行なわれてきているが、その伝承過程における具体的な伝播・普及に関わる研究は未だ充分になされていない。

本研究は、『観海流修業証書授与録』（現家元蔵）に記載された記録を分類集計することから、同流伝播の凡その分布状態を明らかにしようとする、謂わば、今後その伝播の実態を究明していくための基礎的な調査研究を試みようとするものである。

なお、研究期間内に分類集計（一覧表）を作成するところまで進めることができたが、統計処理をおこなう十分な考察を加えるというところには至っていない。従って、本報告では、分類集計結果（一覧表）を提示することで、基礎的調査研究の報告としたい。

一、観海流における伝承（伝播）について

観海流は、武州忍藩浪人で同流々祖宮発太郎信徳によって嘉永5年（一八五二）に津藩に伝えられたという泳法である。

観海流においては、家元及び家元制度を持ちつゝ、その伝統を現在まで継承させてきている。

また、昭和32年以来、津市（三重県）の無形文化財に指定され、

津市の伝統文化としてその存在は市民に広く知られている。

観海流では、平涸ぎ（同流では平泳ぎと表記せず平涸ぎを用いる）の泳力試験を実施することを基本に、その伝承を図ってきたように思われる。

具体的には、次のような泳力試験を実施してきた。なお、以下の（ ）内は到達距離を所要時間に換算した場合のものである。

- ・三町（15分）
- ・五町（20分）
- ・七町（40分）
- ・十町（1時間）
- ・二十五町（1時間30分）
- ・五十町 長渡り（3時間） 初段目録
- ・三里半 大渡り（8時間） 中段目録
- ・五里 長渡り（10時間） 奥伝目録

以上であるが、三町から二十五町までは同流の泳力向上過程として達成路離の証明書授与対象となる試験で、五十町以上五里は修業証書と観海流の伝書（目録、口伝含）を授与される対象としての泳力試験である。

観海流の流儀という面から見るかぎりにおいて、入水に対する心得・水衣・水褌・泳法・指導法・泳力試験方法・遠泳の実施方法等

の全てにいたるまで、同流の中で創意工夫されてきたことの伝承に基づき流儀と受け取ることができるであろう。

しかし、「伝播」というものが『流派の正統な流儀と泳法が人を介して伝わること』と解釈するならば、正統という点から伝書（口伝舎）の授与は重要な意味をもつと考えられる。

つまり、その流の流儀にしたがった正しい泳法ができるようになることは条件であるが、過去より伝承してきた知識と伝統が言語として過つことなく伝えられることを意味する伝書（口伝舎）の授与、とりわけ家元（最高指導者＝師範等）の名によって発行される伝書の授与があつてこそ初めて伝播が成立したと考えたい。

従って、観海流における泳力試験は、単に平泳ぎで目標距離を泳げることを試すためのものではなく、泳法の指導を受けて正しく同流の泳法を実演できる能力を試すことから、同流の泳法を伝承（伝播）を受けするのに足りうる能力を持つ者かどうかを選別するための基準的役割を持つものと考えられる。

要するに、選別の結果、伝書の授与（口伝舎）をもつて伝播を成立させるという形式で行ってきたことを意味するものであると考えたい。

二、観海流における伝播の分布について

俗に『観海流は、海軍を通じて全国に広まった』とか『戦前に歩いて平泳ぎ即ち観海流といわれるほどであった』とかなどと称されてきたように聞き及んでいる⁵。

しかし、その根拠や実態はどうであったのであろうか。

文献資料等から、そのことについて示していると思われる表記を以下に取り上げてみたい。

① へ一道二府十五県（第四代現家元山田謙夫氏所蔵資料内所収）

観海流第三代家元が『観海流修業証書授与録』により観海流の伝播の分布を調査し、都道府県と学校名のみを抽出した覚え書きに「一道二府十五県」との記述が見られた。これは恐らく学校関係者に伝播したと思われる都道府県数を示した数字であると考えられる。

② へ全国に普及伝播するようになった。⁶（『知ってもらいたい日本泳法（下）観海流―山田謙夫（著）』、岩下玲編・著、「大塚葉報」、No三七〇、大塚製薬発行、一九八三、P8）

この記述は『観海流修業証書授与録』や次に示す海軍に採用されたこと等を観海流第四代現家元が文献資料等を見て、その伝播の分布状態や普及状況の範囲を推定の上、記述されたものと思われる。

③〈同年（大正元年）六月海軍兵学校の水泳教官として江田島に赴任〉（『観海流第二他家元源直道五十回忌記念 恵独孤（未定稿）』、山田慶介著、一九六五、P 4）

この記録から、観海流第二他家元山田熊之進が大正元年に海軍兵学校で観海流を指導したことが窮える。

④ へ一、平泳（観海流を採用）これを基本泳ぎとする（『水泳十講』（第3版）、池田尚康著、体育連盟会出版部、一九三〇、P 6）

これは、同書の「海軍流」と称する記述において、大正四年六月制定の「海軍游泳術練習規定」に基づく記載である。著者の記述から、海軍兵学校において同規定が改定された大正14年まで、観海流の平泳ぎを基本泳ぎとして実施していたであろうことが推測できる。

⑤ 〈第3節 二代・山田熊之進：略：明治29年（一八九六）北海道に渡り、同32年（一八九九）北海道支部を開設した〉（『三重県の武道史 観海流溺水術 抄録』、三重県武道史研究会（村林正美・中村広子共著）発行、一九七七、P 4）

これは前掲観海流第二他家元山田慶介著『観海流第二他家元源直道五十回忌記念 恵独孤（未定稿）』に見られるような「明治三十二年八月創成高等小学校生徒水泳教授囑託せらる（手当五円）：略：明治三十二年六月より明治四十三年六月まで引続き日本体育会北海道

道支部演武場水泳術教授を囑託せらる（手当八円より二十円）」（P 12）といった活動を意味するものであろうと思われる。

以上5件において観海流の伝播及び普及に関わる記述を見ることができた。

これらの記述に従うならば、同流が全国的な広範囲に至るまで伝播・普及されて行ったことが想像できる。

この伝播と普及を考えると、伝播というものが同時に、そこからそれ以上に派生するであろう普及（広く知れわたること）を意味するものと考えねばならないであろう。

また、伝播の分布していった過程において、その伝播の分布が広がっていった経路、例えば人より勧められて・何らかの書物等から情報を得てなどといったいろいろな場合を考えねばならない。

伝播のあり方や意味を考える上で、これは大変重要な事柄である。それには、『観海流修業証書授与録』に記載されているところの「何処の（都道府県等）・どの様な（所属）・誰に（個人名）・何時（授与年月日）」伝播がなされたかを明らかにしておく必要がある。

そのことよって、恐らく伝播の分布状況を把握する事が可能となるはずである。

そして、伝播の分布状況が把握できることよって、各々の伝播の具体的な実態を調査探究していく手掛かりを得ることができると



図1 『観海流修業證書授与録』実物写真

考える。

三、『観海流修業證書授与録』（以下『授与録』と略す）について

観海流の修行を行ない定められた泳力試験に合格して初段・中段・奥伝の段位と伝書（目録）を授与された者の記録が『授与録』（図1の写真参照）である。

この各段位『授与録』の綴りの冊数は、以下の通りである。

初段5冊・中段2冊・奥伝2冊

『授与録』の記録には、授与番号・授与年月日・所属（都道府県名のみの場合等あり）・授与者氏名が記載され、記録記載年は明治3年より昭和46年まで記載されてあった。

また、各段位の各綴りの記載授与番号・記載人数については、別表の（表1、『観海流修業證書授与録』における記載授与者人数）に示した通りで、対象総人数は一万六千二百七十一人であった

この『授与録』の記録は代々の家元によって書き継がれてきたうえで、筆跡が様でない。

それに加えて、いろいろな訂正や附記等がなされている箇所も見受けられる。

表1 『観海流修業証書授与録』における記載授与者数

段位及び冊子	初段 ①	初段 ②	初段 ③	初段 ④	初段 ⑤	中段 ①	中段 ②	奥伝 ①	奥伝 ②
記載授与番号	1~1500	1501~3010	3011~4742	4743~6852	6853~10218	4~1887	1888~3198	1~1226	1277~2866
欠番号数	(-) 1	(-) 10			(-) 1			(-) 3	(-) 52
番号重複数						(+) 41		(+) 14	(+) 1
一番号二人数			(+) 1	(+) 1	(+) 1		(+) 1		
取消数				(-) 1				(-) 1	
再発行数									(+) 1
小計	(-) 1	(-) 10	(+) 1	0	0	(+) 41	(+) 1	(+) 10	(-) 50
合計	1499	1500	1733	2110	3366	1925	1312	1236	1590
各段総人数	初段 10208人					中段 3237人		奥伝 2826人	

※表中の(+)・(-)は、人数を数える上での加算・減算を示す。

※表中の冊子数字(①…⑤)は、便宜上附記したものである。

このことは、記録として留めることを如何に慎重に行ってきたかを示すものと、考えて良いであろう。

なお、各段位の『授与録』のほかに観海流北海道道場に関わる『修業証書授与録』がある。

この北海道道場のものは、明治29年に第二代家元山田熊之進渡道後、明治32年頃に観海流北海道支部が開設されてより大正3年までにいたるもので、山田熊之進指導のもとで1町〜5里の試験に合格した者の記録や罷之進が囑託として水泳指導した日本体育会北海道支部及び小樽水産学校の記録が記載されているが、証書及び段位と伝書(目録)の授与がなされたかどうかは不明である。

従って、各段位の『授与録』とは、些か性格を異にするものであると思われることから、観海流の伝播の分布状況を明らかにしたいと考える本研究においては、北海道道場の『修業証書授与録』を対象として取り扱うことにした。

4、『授与録』の分類作業について

『授与録』は、同流の伝播の分布状況を明らかにするためには不可欠な資料である。

『授与録』の原本は現家元宅(三重県津市)に現在所蔵されてい

る。

観海流の伝播の分布状況を明らかにする為には、『授与録』より分類集計を行うことが必要であるが、この調査研究することを目的として、『授与録』の原本から複写（コピー）を作成することの了解を家元より幸い得ることができた。

そこで、『授与録』の初段・中段・奥伝に記載されている授与年月日及び学校名・団体名・都道府県名等を分類項目として、その分類・集計作業を行うことにした。

作業は以下のような手順で行った。

- ①『授与録』の原本からの複写を行ったものから、更に2部複写（1部分類作業用、1部作業後確認用）。
- ②作成した複写と原本の複写との照合（記載番号の読み合わせ）を行い、複写漏れが無いかどうか確認した。
- ③初段・中段・奥伝それぞれにおいて都道府県別を大別として所属（学校名・団体名等）及びその授与年月日で分類作業を行った。なお、分類作業は、複写資料を切り抜き、そして貼り付けることによつて“ファイル”するという方法を用いて行った。
- ④すべて“ファイル”が出来あがった段階で確認作業として、先ず『授与録』の確認用複写分と“ファイル”とを照合しながら一行毎に確認マークを入れるという人数の確認作業（切り抜き漏れの有無）

を行った。更にもう一度、確認用複写分と“ファイル”の都道府県・所属・年月日に相違が無いの確認作業を行った。

⑤作成“ファイル”に基づいて初段・中段・奥伝の別に都道府県別を大別とした所属・年月日・授与者人数の集計表を作成した。

⑥作成した集計表と“ファイル”とを照合し集計記入したものに誤りが無いかどうか確認マークを入れるという確認作業を行った。更に、各段ごとの集計表から入数を計算し総人数に誤りが無いか確認をした。

⑦分類集計した初段・中段・奥伝の各段別表の複写を作成し、大分類・所属（学校名・団体名・出身地等）・授与年月日を分類項目に従つて切り抜き初段・中段・奥伝を一つに貼り付けた一覧表を作成した。（これを“一覧表a”とする）

⑧“一覧表a”と各段ごとの集計表と照合し、切り貼りの誤りが無いかどうか確認作業を行った。

⑨分類集計した初段・中段・奥伝の各段別表から、大分類・所属・授与年月日を分類項目として初段・中段・奥伝を一つにした表をワードプロセッサに入力し、別表へ表2・『観海流修業証書授与録』の分類集計に示す通り一覧表を作成した。

⑩作成した一覧表へ表2と各段別の集計表を照合し、ワードプロセッサによる入力に誤りが無かったかどうか一覧表の複製を作

成して、確認マークを入れながら確認作業を行った。

以上のように10行程に及ぶ『授与録』の原本からの複写↓「フアイル」の作成↓集計表の作成↓一覧表の作成へと進めてきた。

これらの分類集計において大変困難であったのは、各確認作業であった。

分類の誤りや人数上の誤りに出会う度に、その行程の初めから確認作業をやり直したり、時には前作業行程に戻って確認するなど、兎も角そのことに費やした時間は膨大なものであった。

5、〈表2〉『観海流修業証書授与録』の分類集

計」における凡例

- 一、『観海流修業証書授与録』は、観海流第四代家元宅に所蔵される。
- 一、都道府県名・所属名の旧漢字使用部分を当用漢字に改めた。
- 一、『授与録』には、身分・族籍記載として華族・士族・平民等の記載があったが、これを分類対象外とした。
- 一、大分類は、所属所在の都道府県に基づいて分類した。但し、所属記載があっても所在が不明のものは「所在不明」、戦前は日本の植民地で現外国である樺太・台湾を「旧植民地」、所属等が全く不明なものは「不明」として分類した。

一、大分類では、北海道から九州、所在不明旧植民地、不明という分類順で並べた。

一、所属は『授与録』に記載されている学校名・団体名を優先し、これらの記載がない場合において出身地及び特記事項（例 東京法学士）に従って分類した。

但し、学校名・団体名が記載されていても観海流本部道場の修業生として修業証書を授与されたと思われる記載のあるものは、観海流本部道場の所属を優先して分類した。

一、所属において学校名・団体名が略されて表記されているものは出来るだけ本来の名称（例 三重大↓三重大学）で分類した。

一、所属において学校名の記載される都道府県名は省略（例 京都第一中学↓第一中学）して表記した。但し、市町村名及び大学名はそのまま表記した。

一、所属における学校名・団体名において、同一学校・団体と思われるのに表記が複数ある場合、便宜上都合のよい表記（例 熱田水泳協会・熱田分道場・熱田道場↓熱田水泳協会）を採択した。

一、所属学校の教員・卒業者の記載のあるものが見られたが、所属学校に属するものとして取り扱った。

一、所属は、出身地、団体名、学校名の順に並べ、学校に関しては大学・高校・中学小学校といった順序で並べた。

北海道	北海道 岩門町高台	大分類 (都道府 県・分類 不明等)	所 属 (学校名・団体名・ 出身地・その他)	授与年月日 年号 年・月・日	段位別授与者人数 (初段) (中段) (奥伝)
				明治31・08・09 明治42・08・09 昭和38・02・15	1 1 7

表2、『観海流修業証書授与録』の分類集計

一、修業証書授与年月日、年月日記載が直接ない場合には前後の記載年月日を判断基準として決定した。但し、年だけ記載のものは年月のみ記載のものはその表記を基準とした。

一、修業証書授与年月日の集計において表記上一桁の数字には、すべてその数字の前に0を付し(大正1→大正01)、月日の無記入なものは00で表記した。

一、授与年月日は、年月日の古いものから新らしいものの順で並べた。

一、段位別授与者が無記入であっても前後の記録記載状況から判断して授与人数として数えた。但し、一部授与番号のみであっても前記載所属すると判断したものもある。

一、一授与番号に2人記載の場合は、2人として数え、取消の表記のある者は総数から減算した。

以上

大正03	大正02	大正01	明治43	明治44	明治42	明治41	明治40	明治42	明治36	明治36	明治38	明治32	明治31	明治30	明治33	明治31	明治35	明治33	明治32	明治32	明治31	明治30	明治29	明治29	明治29	明治07	明治06	明治04	明治01							
09	08	08	09	08	08	08	09	09	08	08	09	08	08	08	09	08	08	09	08	08	08	08	08	08	10	09	08	09	08							
08	17	25	00	00	15	10	07	21	20	15	23	21	07	15	23	13	24	22	14	06	22	12	08	28	23	28	25	20	23	10	23	01	13	10	20	
69	56	64	76	25	11	29	53	1	1	5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
3	9	12	6	6	4	1							1	1												2										
4	7	5	2	2									1														7	1								
																												初段								
																												中段								
																												奥伝								

岐阜	福井	大分類
岐阜県 武生中学校 福井中学校 師範学校	福井県 金沢第一中学校 金沢第二中学校 第二中学校	所属 (学校名・団体名他) 産業学校 金沢商業学校 金沢高等中学校 石川県中学校 第一中学校
大正01 治35 治34 治33 治32 治31 治30 治40 治38 治38 治42 治41 治40 治34 治01 治32 治32 治31 治30 治43 治43 治42 治42 治41 治40 治41 治40 治40 治39 治40 治06 治40 治07	大正08 治08 治08 治08 治07 治07 治09 治08 治09 治08 治10 治07 治08 治08 治08 治08 治08 治00 治08 治08 治09 治08 治09 治08 治08 治08 治10 治09 治08	授与年月日 132906131331293004211315070427132813141630001515101204101204051306041108
1 2 1 1 1 1 1 1 1 5 1 13 4 18 5	1 2 7 131636 1741 43 8 1 1810	初段
1 6 8 1 1 1 3 5 13 1 1 1		中段
1		奥伝

愛知	大分類	
名古屋市 海部郡富田町 熱田水泳協会 (熱田分道場・熱田道場)	所属 (学校名・団体名他) 愛知県	
大正08 正07 正06 正05 正04 正04 正04 正03 正02 正01 正15 正11 昭和08 昭和02 昭和43 昭和39 昭和41 昭和37 昭和37 昭和35 昭和35 昭和35 昭和35 昭和34 昭和34 昭和33 昭和33 昭和33 昭和32 昭和31 昭和02 昭和01	大正08 治09 治09 治09 治09 治09 治08 治08 治09 治09 治08 治09 治07 昭和12 昭和08 昭和09 昭和07 昭和07 昭和08 昭和10 昭和10 昭和08 昭和08 昭和08 昭和08 昭和09 昭和08 昭和08 昭和08 昭和08 昭和08 昭和08	授与年月日 301307061001292723073115300807000524292605050429211313100624301628251718
13 19 16 1011 4 3 1 3 2 9 5 2 3 1		初段
1 1 2 3 3 2 7 2 2 1 1 1 2 1 4 1 3 1 1		中段
4 10 10 7 12 1		奥伝

	大分類
愛知県体育支部 愛知県武徳会 愛知県教育会 第一師範学校(師範学校)	所 (学校名・団体名 他)
昭和昭大大大大大大大大大大大大明明明明明明明明大明明昭昭大大大大大 和和正正正正正正正正正正正正正正正正治治治治治治治治治治治治治治治治 04020215141312111009080706050403020201434241403937373704393711021514131211 08080809080908090808081008090809080808080808080808090809080708090811090809090808 252505151526251017261505311129051517180015101714052304072323011816122012	授与年月日
32 2372282738414845453424233714 1 42222832 9 10 5 1 16 7 1 2 1710 3723	初段
1313	中段
1610 3 3 5 13	奥伝

	大分類
大同工業学校 工業学校	所 (学校名・団体名 他)
第二師範学校	
昭和昭大大大大大大大大明明明明明明明明明明昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭 和治和正正正正正正正正正正正正治治治治治治治治治治治治治治治治治治治治治 174005100908070605030202014342404039383818171616151414131211100908070605 07090909080808080909070708080908070809080708090807070608080808080808080809 311330132718302906052423250005112331281031313030252500203131313129301830	授与年月日
34 3 15706454676987471542595368 633612 432616 4 10 9 2 7 2 2 2 6 103216	初段
16 20 1 1 5 11 1 2 6 232328272412	中段
3 47 19 1525	奥伝

大分類	所 (学校名・団体名 他)	授与年月日	初段	中段	奥伝
	第一中学校 岡崎市立高等女学校 丹羽高等女学校 瑞穂高等女学校 金城女学校 蒲郡農学校 稲沢農学校 半田農学校 瀧実業学校 岡崎市立商業学校 (岡崎商業学校) 一宮女子商業学校 名古屋商業学校 東邦商業学校	昭和16年08月16日 昭和15年11月08日 昭和18年09月07日 昭和18年07月07日 昭和17年14月08日 昭和13年02月05日 昭和15年08月09日 昭和14年09月09日 昭和15年03月15日 昭和18年08月08日 昭和18年07月07日 昭和17年11月17日 昭和16年10月08日 昭和15年04月14日 昭和14年13月12日 昭和10年10月15日 昭和15年07月16日 昭和12年11月10日 昭和09年07月05日 昭和04年04月19日 昭和11年07月08日	5 3 23 10 10 1 1 4 27 120 109 19 5 14 1 11 2 23 6 1	1 1 26 23 3 1 2	3 1 1 2 13 3

大分類	所 (学校名・団体名 他)	授与年月日	初段	中段	奥伝
	野間第一国民学校 佐久島小学校 武豊小学校 豊浜第一高等小学校 新川小学校 豊橋高等小学校 成章中学校 惟信中学校 明倫中学校 岡崎中学校	昭和18年07月31日 昭和17年02月07日 昭和13年04月09日 昭和08年09月08日 昭和13年08月13日 昭和12年06月22日 昭和10年05月28日 昭和09年09月09日 昭和09年09月09日 昭和09年08月10日 昭和08年08月10日 昭和08年04月04日 昭和03年02月25日 昭和02年04月03日 昭和08年09月00日 昭和08年09月07日 昭和07年07月07日 昭和09年08月09日 昭和08年08月08日 昭和08年08月08日 昭和08年08月08日	31 17 27 19 30 1 4 9 5 9 1 28 2 20 47 20 11 11 11 1 21 1 1	14 4 1	3 1 2 1 6 10 5 5 1 2

																		大分類												
津市水練学校	津道場																	所 (学校名・団体名 他)												
昭和23年07月28日	昭和24年10月20日	昭和24年10月31日	昭和24年10月31日	昭和25年01月18日	昭和25年01月13日	昭和25年01月12日	昭和25年01月12日	昭和25年01月16日	昭和25年01月17日	昭和25年01月16日	昭和25年01月15日	昭和25年01月15日	昭和25年01月14日	昭和25年01月14日	昭和25年01月13日	昭和25年01月12日	昭和25年01月11日	昭和25年01月11日	昭和25年01月09日	昭和25年01月05日	昭和25年01月04日	昭和25年01月03日	昭和25年01月02日	昭和25年01月15日	昭和25年01月14日	昭和25年01月13日	昭和25年01月12日	昭和25年01月12日	授与年月日	
				9	6	2	5			4	1				7	3	3	5		9	1		5	3	4				8	初段
	1	1	2		2	3	2	12	24	1		1	5	1	1	5	7	4	5	9		2		11	5	7	8		中段	
14		2	1	2	6	14		21	5	16	22	4	6	7	5	7	4	1	3	7	11	7	7	11					奥伝	

																		大分類												
																		所 (学校名・団体名 他)												
大正03年07月27日	大正04年08月09日	大正04年08月09日	大正04年08月09日	大正04年08月09日	大正04年08月09日	大正04年08月09日	大正04年08月09日	大正04年08月09日	大正04年08月09日	大正04年08月09日	大正04年08月09日	大正04年08月09日	大正04年08月09日	大正04年08月09日	大正04年08月09日	大正04年08月09日	大正04年08月09日	昭和三十八年01月20日	昭和三十八年01月19日	昭和三十八年01月19日	昭和三十八年01月19日	昭和三十八年01月18日	昭和三十八年01月18日	昭和三十八年01月18日	昭和三十八年01月18日	昭和三十八年01月18日	昭和三十八年01月18日	昭和三十八年01月18日	昭和三十八年01月18日	授与年月日
	8	9		5		22	31		18	10	24		5	14	3	8	11	9	6	5	14	3	13	10	1	2	9		初段	
	5	2	14	1	3	9	20	10	15	1	9	29	21	24	33	12	11	6	25	18	15	20	13	31					中段	
27	23	9					8	17																		2018			奥伝	

		大分類	
津高等女学校 高田高等学校 (私立) 松坂工業学校 津工業学校 四日市商業学校 励精商業学校 松坂商業学校		所 (学校名・団体名 他)	
昭和18年4月18日 昭和18年7月8日 昭和18年8月08日 昭和18年10月08日 昭和19年02月22日 昭和19年03月08日 昭和19年04月08日 昭和19年05月10日 昭和19年06月05日 昭和19年07月09日 昭和19年08月06日 昭和19年09月10日 昭和19年10月10日 昭和20年01月21日 昭和20年05月15日		授与年月日	
1	1 2	1 9 1 5 6 2 10 1 6 4 15 3 3	初段
2	1 2 11 9 13 1 7 2 9	2 6 5 2 1 1 6 5	中段
2	9 1 9 1 6	12 2 27 9 15 45 2 47 30 35 1 2 5	奥伝

		大分類	
第三中学校 第二中学校 津中学校 第一中学校		所 (学校名・団体名 他)	
大正5年5月08日 大正5年7月14日 大正6年04月13日 大正6年05月24日 大正6年09月01日 大正6年10月20日 大正7年01月08日 大正7年02月14日 大正7年03月01日 大正7年04月08日 大正7年05月15日 大正7年06月08日 大正7年07月08日 大正7年08月08日 大正7年09月09日 大正7年10月10日 大正7年11月13日 大正8年01月19日 大正8年02月21日 大正8年03月21日 大正8年04月21日 大正8年05月21日 大正8年06月21日 大正8年07月21日 大正8年08月21日 大正8年09月21日 大正8年10月21日 大正8年11月21日 大正8年12月21日		授与年月日	
26 1	1	15 1 1 35 10 1 23 28	初段
12	1 1 6	8 3 10 13 10 1 8 6 12 1	中段
4	18 6 8 14 9 17 17 6	1 1 19 1 5 10 6 1 1 1	奥伝

	大分類
第一中学校 (京都中学校) 師範学校 第三高等学校	所 (学校名・団体名 他)
明明明明明明大大明明明明明明明明明明明明明明明明明明明明 治治治治治正正治正治正治正治正治正治正治正治正治正治正治 37 37 36 36 35 31 05 04 03 31 03 40 01 35 35 35 34 34 34 34 34 34 33 33 33 33 32 32 32 31 31 31 31 30 30 30 30 08 08 08 08 08 08 09 08 08 07 08 08 08 08 08 08 08 08 08 08 08 08 07 08 08 07 08 08 07 08 08 08 07 08 08 08 08 08 05 12 07 13 09 06 30 23 30 09 11 13 24 22 13 19 13 11 10 06 30 13 01 31 28 13 31 14 09 07 29 22 16 15 14	授与年月日
15 6 2 2 1 2 23 18 1 7 4 8 27 55 1 11 19 5 11 4 4	初段
8 2 2 6 6 11 7 14 1 4 1 8 7	中段
15 6 2 1 1 8 7 5 15 4 1 3 1 3 6 3 2 2	奥伝

	大分類
	所 (学校名・団体名 他)
昭昭昭大大大大大大大大大大大大大明明明明明明明明明明明明明 和和和正正正正正正正正正正正正正正正正正正治治治治治治治治治治治 05 04 03 02 15 14 13 13 13 12 11 10 09 08 07 06 05 04 04 03 02 43 43 42 42 41 41 41 40 40 40 38 38 38 37 08 08 08 08 08 08 08 08 08 08 08 08 08 08 08 08 08 08 08 08 08 08 00 08 08 08 08 08 08 08 08 08 08 08 06 08 09 10 08 09 13 11 10 06 09 09 09 09 08 11 01 10 08 13 00 00 00 23 22 13 13 12 11 09 13 10 07 10	授与年月日
1 1 2 1 41 20 29 39 32 29 32 2 5 33 1 6 12 11 5 8 16 19	初段
1 1 2 12 15 18 19 20 12 1 13 15 2 7	中段
5 10 16 10 9 8 11 11 8 9 3 9 5 6 12 10 17 5 8 6 3 6 1	奥伝

大分類
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; text-align: center;">第三中学校 (第五中学校)</div> <div style="width: 45%; text-align: center;">第二中学校</div> </div>
授与 年 月 日 大大明明大大大大明明明明明明明明明明明明明明明明昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭 正正治治正正正正正治治治治治治治治治治治治治治治治治和和和和和和和和和和和 02024342421004030201434242404040393938383838363635171514131312111009080706 . 08080808000808080808080808080808080808080808080808080708 . 090513000009292317230700001110081110131007120713313003020103040304033101
初 段 15 9 11 1 16 24 12 12 21 17 4 8 23 9 1 6 3 7 1
中 段 3 5 5 9 5 2 3 5 11 2 5 1 3 1 2
奥 伝 4 5 4 3 2 2 6 4 3 2 1 3 19 4 8 6 5 2 7 7 13 6 22

大分類
<div style="text-align: center;">所 (学校名・団体名 他)</div>
授与 年 月 日 昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭大大大大大大大大大大大大大大大大 和和和和和和和和和和和和和和和和和和和和和正正正正正正正正正正正正正正正正 151413121211101009080807070606050403020215141312111009090807060504030302 . 0808080807080807080807070908080808080808080808080808080808080808080808080808 . 300101013102013101030131291202020205210102020102030603000403080908100913
初 段 26202415 2118 11 1 40 1 32 24213123 2234122235102533 112914191719 4
中 段 5 11 6 6 8 14 4 27 27 2 9 23 8 3 7 8 6 14171011 6 7 3 10 7 7 7 4
奥 伝 8 11 3 10 7 2 8 12 5 7 7 8 13 11 6 15 8 5 6 7 1 4 5 6 2 3 2 1

奈良															大分類									
第一・第五中学校 福知山中学校(旧第三中学校)															所屬 (学校名・団体名他)									
明大	大	大	明	明	明	明	明	明	明	昭	昭	大	大	大	大	明	明	明	明	明	明	大	大	授与年 月日
治正	治正	治正	治正	治正	治正	治正	治正	治正	治正	治正	治正	治正	治正	治正	治正	治正	治正	治正	治正	治正	治正	治正	治正	42414118 00080807 00141231
401412	403938	373736	354443	424009	081413	131213	383741	414135	3532	3010	11	0809	0808	0808	0808	0808	0808	0808	0808	0808	0808	0808	13142504050610050713110729132601020503251506061414131207220909	
4	4	6	5	4	5	12	8	3	1	10	9	6	7	9	1	1	1	1	2	1	1	3	初段	
		2	3	1	2	4					11	1	1	2	1	1				2		13	中段	
	9	10	2	4	1	3		3			7	2										13	1	奥伝

大阪															和歌山	大分類															
大阪府															和歌山県 高岡小学校	高田小学校	宇陀中学校	所屬 (学校名・団体名他)													
昭大	大	大	昭	昭	昭	昭	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	授与年 月日							
和正	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	1201373635353535343434333333323229373330291214131818050402151414 0808090909080808080808080809090908070908080909080808090908110909090908							
1813	1009	1031	2524	2212	2011	0624	1108	1317	1013	2310	0615	2325	0915	1616	0128	0101	0512														
	2	55	1	20	15	14	10	15	3	12	33	1	1	23	1	2	2			13	16	16	1	8	10	12	1	15	22	初段	
			13		3	4			2	1		1		1	3				1	3	6	10	5	7						中段	
1	1					1								1																	奥伝

															大分類										
															所 (学校名・団体名 他)										
大	大	大	大	明	明	明	明	明	明	明	明	明	明	明	昭	明	大	大	昭	昭	昭	明	明	昭	授 与 年 月 日
正	正	正	正	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	和	正	正	和	和	和	和	和	和	和	
02	02	01	01	43	42	42	41	41	41	40	39	38	37	37	36	35	34	34	34	34	31	36	34	17	09
09	08	09	09	08	09	09	09	09	08	09	09	09	09	08	08	07	09	07	08	08	09	09	09	08	08
04	25	21	00	00	13	11	20	10	07	11	10	10	10	05	10	10	09	07	27	10	30	10	30	18	
33	69	1	80	63	69	27	97	23	70	51	93	10	42	15	19	2	2	10	7	9	18	1	初 段		
17	8	1	5	23	31	35	37	18	7									1	1				1	中 段	
4	11	15	19	17	16	11	1	1	1														1	奥 伝	

															大分類																				
															所 (学校名・団体名 他)																				
															授 与 年 月 日																				
大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	明	明	明	明	明	明	昭	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	
03	03	02	01	01	01	07	06	06	05	04	04	03	02	01	01	43	42	36	35	35	40	39	03	10	10	08	07	06	05	05	04	04	04	03	
07	07	09	08	08	08	11	09	08	08	08	08	08	08	08	09	09	08	09	09	08	08	09	09	09	09	09	09	09	09	09	08	08	08	09	
31	29	10	09	07	04	28	03	03	04	10	07	20	25	20	00	00	10	09	22	12	11	10	01	13	01	13	14	05	06	04	12	29	28	27	12
10	17	10	19	14	11	12	10	15	14	5	5	17	28	38	3	5								10	10	5	139	64	28	67	2	129	初 段		
5	4	2	2	8	5	7	4	1	16	1	25	1	52	21	32	39	77	26																中 段	
4	5	4	2	3	3	4	5	12	1	10	17	13	19	22																					奥 伝

大分類	所 (学校名・団体名 他)	授 与 年 月 日	初 段	中 段	奥 伝
不明	中華民國 中華民国 所属未記入	大正 13 09 08 13 11 05 04 04 04 04 03 03 03 03 01	30	1	
旧植民地	台湾高雄州澎湖島馬公小学 權太内谷町甲官舎 矢野学校	昭和 14 09 08 14 03 08 14 03 18	1	1 1 1	
所在不明	第二短期海員養成所 地方幼年学校 西部鉄道管理局	昭和 18 08 08 18 08 08 18 03 08	7	1 1 1	1
鹿兒島	鹿兒島県	大正 06 07 08 13 01 35 13 05 01	2	2 1 1	
熊本	熊本県	大正 13 08 08 13 12 13 13 10 06	1	1	
大分	大分県	大正 13 08 08 13 10 06 13 03 27	1	1 3 3	
佐賀	佐賀県 宗像中学校	大正 13 09 08 13 09 08 13 09 08	1	1 3 3	
豊津中学校 県立中学校 嘉穂中学校	豊津中学校 県立中学校 嘉穂中学校	大正 06 04 24 06 06 08 06 04 24	11	11	20

大分類	所 (学校名・団体名 他)	授 与 年 月 日	初 段	中 段	奥 伝	
		明治 28 08 08 28 08 08 27 07 27 27 07 27 27 07 27 26 06 26 26 06 26 25 05 25 25 05 25 25 05 25 24 04 24 23 03 23 23 03 23 23 03 21 21 02 21 20 02 20 20 02 20 18 10 18 17 10 17 16 10 16 16 10 16 14 10 14	7	15 11 4 8 15 21 3 10 5 5 7 11 13 18 11 11 5 6 2 4 5 9 4 6 2 11 1 8 1	28 16 11 12 5 5 3	2 10 3 1

	大分類
	所 属 (学校名・団体名 他)
昭和 12 02 02 02 01 41 37 36 35 35 34 34 34 34 34 33 32 32 31 31 31 31 30 29 29 29 29 28 28	授 与 年 月 日
08 08 08 08 07 08 08 08 10 08 08 08 08 19 18 17 13 10 04 28 13 25 24 22 19 06 23 20 10 28 22 27	
1 1	初 段
16 4 1 18 17 1 8	
2 1 1 1 8 1 14 12	中 段
3 65 6	奥 伝

おわりに

『授与録』より分類集計を行い表2の一覧表を作成するところまで進めることができたが、当初考えていたよりも難しい作業であったと思われる。

何故なら、凡例に示した通りいろいろと判別を要するケースが出てきたり、集計表作成過程における誤記・転記漏れ等の確認作業で必要以上に時間を費やすなど、かなり骨の折れる作業であった。

分類集計の結果から、北は北海道、南は九州まで伝播が分布し、更に旧植民地の台湾・樺太にまで分布していることが判明した。

所属数や授与者数について見ると、三重県は勿論のことであるが、京都府・愛知県・大阪府が多かった。

また、明治30年以降急激に学校関係の修業証書授与者が増加し、授与者数において学校関係者の占める割合が観海流本部道場や団体と比べてはるかに高かったことを窺い知ることができた。

この学校関係者における継続的な修業証書の授与という点では愛知県第一師範学校(明治37年～昭和18年)・京都第一中学校(明治37年～昭和17年)・京都第三中学校(明治41年～昭和18年)が際立って長期間にわたる授与者が見られた。

今後は、この分類集計したのから、統計処理を行い、いろいろな項目を設定して比較考察を行い、加えて観海流関係資料（『観海同友会々誌』等）からの同流伝播に関する調査研究を進められればと思っている。

また、この分類集計に基づいて、観海流の伝播に関わる具体的な実態調査に取り掛りたいと考えている。

最後に、本来家元が保管する貴重資料については破損・紛失等を防ぐ当然の必要性から門外不出としている場合が少なくないものにも拘らず、「ご好意とご理解によって『授与録』の複写を承諾して下さった観海流第四家元山田謙夫氏、また、煩瑣で根気のいる分類作業を研究補助としてお手伝い下さった本学7名の学生の方々に厚く御礼申し上げます。

註

- 1 西山松之助、『家元の研究 西山松之助著作集第一巻』、吉川弘文館、P 1、一九八二。
- 2 石川芳雄、日本水泳史、米山弘、P 3～6、一九六〇。
- 3 嘉永6年説、安政年間説も有り。
白山源三郎（編）、図説日本泳法、日貿出版社、一九七五。及

び前掲2石川芳雄等参照。

4 前掲3白山源三郎（編）、P 89。

5 筆者が日本泳法関係者や泳法とは関わりのない年配者等から聞き及んでいた。

6 前掲3白山源三郎（編）、P 83～84にも類似した表現有り。

7 前掲3白山源三郎（編）、P 84にも類似した表現有り。

8 山田熙之進直筆履歴書（複写）にも水泳指導による慰労金を給付されたことが記載されている。

9 久保井雅子・広瀬啓子・小林昌史・武田徳広・大崎隆善・波多野晶子・小林智子の諸氏